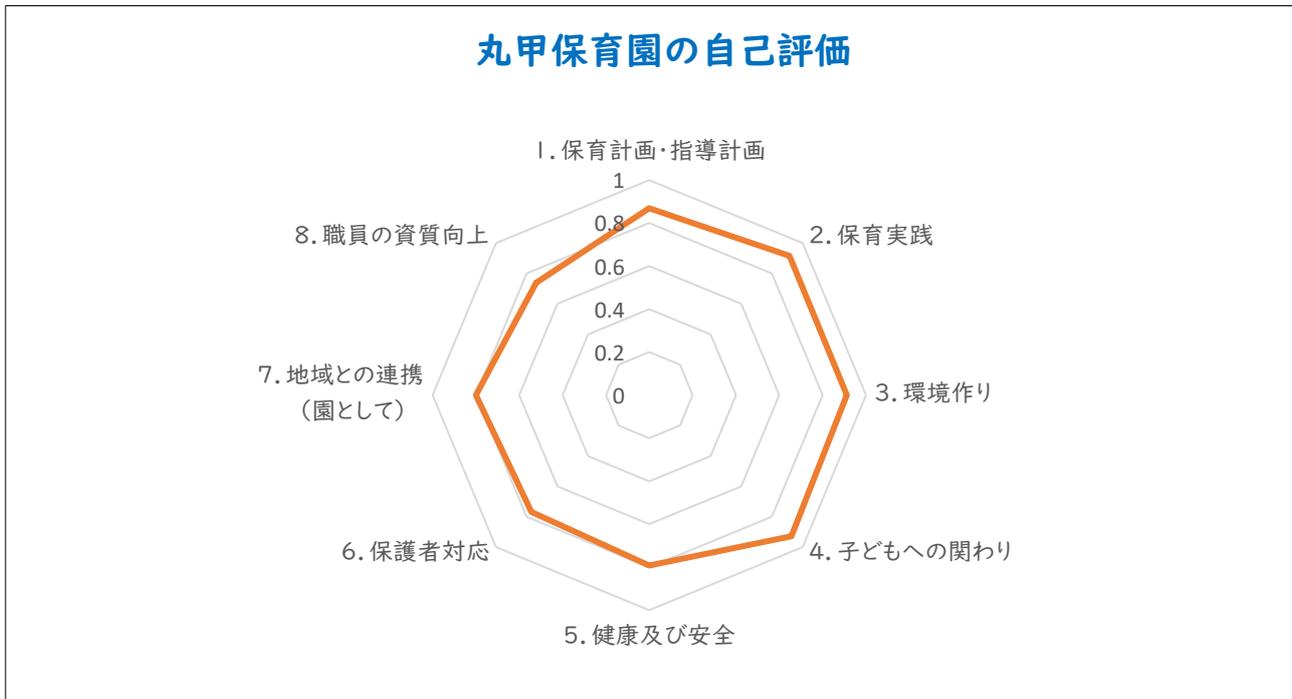


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。



【総評】

- 「育児担当制」による深い愛着形成を基盤に、試行錯誤しながら子ども自ら学びを深める「主体性保育」を実践しました。また、多様な個性を認め合う「インクルーシブ保育」を通じて子ども同士が自然に助け合い、共に育つ姿が見られました。
- 地域の高齢者と「グランドゴルフ交流会」や、散歩時の挨拶を通じた地域交流により温かく見守られる関係を築くことで、「地域に愛される保育園」となりました。
- 保護者一人ひとりの悩みや要望に寄り添った丁寧な対話を大切にすることで、共に子どもの成長を喜び合える信頼関係を深めることができました。
- 今年度も丸甲小学校1年生と月1回遊びの日を実施しました。また、交流だけでなく教諭との活発な意見交換を行い、小学校との円滑な接続を実現しました。

「グランドゴルフ交流」



「ボール遊び」



「クッキング」



【今後の課題】

○内部・外部研修、文献学習等でそれぞれが専門性の向上に努めましたが、もっと積極的に自己研鑽しなければいけないと感じた保育士も多かったため、今後内部研修をより充実させることで保育の資質向上に努めていきます。